

多様性の中の統一

～量的研究と質的研究の両方を経験した私が選んだのは？～

スピーカー: 榎木美樹
(名古屋市立大学人間文化研究科准教授)

日時: 2019年7月26日(金) 18:30~20:00
場所: 名古屋市昭和生涯学習センター 第3集会室
〒466-0023 名古屋市昭和区石仏町1-48
(地下鉄「御器所」下車 徒歩10分)



今回は、インドの不可触民解放運動に関する研究をしている榎木美樹さんのお話をうかがいます。ひとりひとりの健康データを大切にすることは、ひとりひとりの命を大切にすることであり、保健サービスの質向上につながると考えます。でも、「人」を知るには数字が全てでないのも確か。統計手法を扱う研究所他を経て現在「地域研究」を行なっている榎木さんに、今まで経験された研究手法の長短およびそれぞれの研究手法をハイブリッド化する可能性等々をシェアしていただきます。



榎木さんからのメッセージ:

「不可触民制をなくすために、外国人/よそ者の私に何ができるのか」を考え関わり続け、はや四半世紀が経とうとしています。全身全霊をかけてきた活動は、生き方そのものなので形容しがたいのですが、他者は必ず「専門」(discipline)を聞いてきます。あえて名称をつけるなら領域横断的な「地域研究」としか言いようがありません。私が考える「地域研究」という学問をお伝えしたいと思います。

【お問い合わせ & お申し込み】

一般社団法人Bridges in Public Health事務局
〒467-0027 名古屋市瑞穂区田辺通1丁目22-2
TEL: 052-846-5878
Mail: biph-adm@umin.ac.jp
URL: <http://plaza.umin.ac.jp/biph>
FB: www.facebook.com/biph.adm



BiPH
Bridges in
Public Health